

## こども霞が関見学デー 「みんなの意見や疑問を大臣に伝えよう」

令和4年8月4日（木）、こども家庭庁設立準備室では、こども霞が関見学デーのイベントの一環として、小中学生と大臣がこども家庭庁等に対する意見や疑問について話し合うプログラムを実施しました。

<イベントの様子>



当日は、小学校4年生～中学3年生のこども15名（対面参加13名、オンライン参加2名）が参加し、野田聖子こども政策担当大臣及び三原じゅん子大臣補佐官との意見交換を行いました。

参加したこどもたちからは、

- 「こども家庭庁の職員はどんな仕事をするのか。」
- 「こどもと社会の関わりについて教えてほしい。」
- 「不登校のこども向けの政策について教えてほしい。」
- 「いじめや虐待をなくすために何をするのか。」
- 「地方に住んでいるこどもの支援はどのようなものがあるのか。」

など、多くの質問が投げかけられました。

大臣からは、こども家庭庁は「こどもの声をしっかり聴いて政策に反映していくこと」を基本理念の1つとしており、今後も当事者であるこどものみなさんの声をしっかりと聴いて、一緒になって考えていきたい旨の発言がありました。